

平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社グローバルダイニング 上場取引所 東
 コード番号 7625 URL http://www.global-dining.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員最高財務責任者 (氏名)中尾 慎太郎 (TEL)03-5469-3222
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	4,887	3.0	△0	—	7	—	△11	—
29年12月期第2四半期	4,746	1.8	△59	—	△67	—	△90	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 △28百万円(—%) 29年12月期第2四半期 △121百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	△1.10	—
29年12月期第2四半期	△9.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	6,929	3,860	55.4
29年12月期	7,122	3,889	54.3

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 3,839百万円 29年12月期 3,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	9,911	1.0	50	—	82	—	29	—	2.88	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年12月期 2 Q	10,145,400株	29年12月期	10,138,000株
30年12月期 2 Q	551株	29年12月期	310株
30年12月期 2 Q	10,141,375株	29年12月期 2 Q	10,081,247株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成30年8月7日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などにより先行き不透明な状態で推移しました。

外食産業におきましても、消費マインドに持ち直しの動きがみられ、穏やかに上昇してきております。

こうした中、当社グループは顧客満足度を高めるため、商品・サービスおよび空間の品質向上を実施いたしました。健康志向・インバウンド層など多様化するマーケットに適応するメニューや業態の開発、人材の発掘と教育に力を入れサービスの向上に取り組みました。また、3月に新宿区に「デカダンス ドュ ショコラ 新宿京王」を、5月には渋谷区に「権八 NORI-TEMAKI 原宿」を新規出店いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、48億87百万円（前年同期比3.0%増）となり、当第2四半期連結累計期間末の総店舗数は52店舗となりました。

損益につきましては、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失59百万円）、経常利益は7百万円（前年同期は経常損失67百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は11百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失90百万円）となりました。

報告セグメントについては、当社グループはレストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

売上高をコンセプト（営業形態）別にみると、「ラ・ボエム」は13億9百万円（前年同期比3.1%減）、「ゼスト」は2億6百万円（同9.7%増）、「モンスーンカフェ」は10億93百万円（同5.2%減）、「権八」は13億70百万円（同11.5%増）、「ディナーレストラン」は4億24百万円（同9.0%増）、「フードコロシウム」は89百万円（同6.4%減）、「その他」は3億92百万円（同16.5%増）となりました。既存店売上高につきましては、前年同期比3.1%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1億93百万円減少し、69億29百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して1億95百万円減少し、10億25百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が64百万円、受取手形及び売掛金が95百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して1百万円増加し、59億3百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比較して3億円増加し、16億64百万円となりました。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金が4億33百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が83百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して4億64百万円減少し、14億4百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が4億5百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して29百万円減少し、38億60百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が11百万円、為替換算調整勘定が14百万円それぞれ減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して64百万円減少し、4億56百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失4百万円、減価償却費1億8百万円などにより、営業活動の結果得られた資金は、54百万円（前年同期は96百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出97百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は1億42百万円（前年同期は96百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入れによる収入8億20百万円、長期借入金の返済による支出7億89百万円などにより、財務活動の結果得られた資金は29百万円（前年同期は1億71百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年2月13日に公表いたしました「平成29年12月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	520,717	456,034
受取手形及び売掛金	330,674	235,064
商品及び製品	20,433	14,288
原材料及び貯蔵品	177,100	154,791
その他	171,924	165,548
流動資産合計	1,220,850	1,025,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,478,538	8,495,245
減価償却累計額	△6,245,939	△6,302,204
減損損失累計額	△590,844	△601,435
建物及び構築物(純額)	1,641,753	1,591,605
土地	2,655,895	2,639,708
その他	250,170	273,062
有形固定資産合計	4,547,820	4,504,377
無形固定資産	4,426	5,207
投資その他の資産		
差入保証金	1,313,970	1,356,804
その他	35,804	37,259
投資その他の資産合計	1,349,774	1,394,064
固定資産合計	5,902,022	5,903,648
資産合計	7,122,872	6,929,376

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	394,412	310,412
1年内返済予定の長期借入金	225,486	658,594
未払法人税等	48,494	44,594
資産除去債務	-	16,319
その他	695,903	634,482
流動負債合計	1,364,295	1,664,402
固定負債		
長期借入金	1,204,988	799,763
退職給付に係る負債	39,061	37,213
資産除去債務	574,532	530,449
その他	50,432	37,024
固定負債合計	1,869,014	1,404,449
負債合計	3,233,310	3,068,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,831	1,479,596
資本剰余金	2,133,831	2,134,596
利益剰余金	383,337	372,174
自己株式	△244	△315
株主資本合計	3,995,755	3,986,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,878	5,151
為替換算調整勘定	△137,255	△151,491
その他の包括利益累計額合計	△129,377	△146,340
新株予約権	23,184	20,812
純資産合計	3,889,562	3,860,523
負債純資産合計	7,122,872	6,929,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,746,228	4,887,999
売上原価	4,323,260	4,414,215
売上総利益	422,967	473,783
販売費及び一般管理費	482,163	474,734
営業損失(△)	△59,195	△950
営業外収益		
協賛金収入	17,361	16,666
その他	14,920	18,210
営業外収益合計	32,281	34,876
営業外費用		
支払利息	11,704	6,409
為替差損	28,774	19,208
その他	385	419
営業外費用合計	40,865	26,037
経常利益又は経常損失(△)	△67,778	7,888
特別損失		
減損損失	9,176	11,929
投資有価証券評価損	7,172	-
特別損失合計	16,349	11,929
税金等調整前四半期純損失(△)	△84,128	△4,041
法人税、住民税及び事業税	7,997	7,997
法人税等調整額	△1,296	△875
法人税等合計	6,701	7,121
四半期純損失(△)	△90,829	△11,162
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△90,829	△11,162

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△90,829	△11,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	236	△2,727
為替換算調整勘定	△30,662	△14,235
その他の包括利益合計	△30,425	△16,962
四半期包括利益	△121,255	△28,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△121,255	△28,125
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△84,128	△4,041
減価償却費	128,690	108,914
減損損失	9,176	11,929
受取利息及び受取配当金	△509	△226
支払利息	11,704	6,409
為替差損益(△は益)	28,774	19,208
投資有価証券評価損益(△は益)	7,172	-
売上債権の増減額(△は増加)	161,054	95,362
たな卸資産の増減額(△は増加)	29,223	28,257
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,524	△83,853
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△4,696	-
未払金の増減額(△は減少)	△34,516	△7,739
未払費用の増減額(△は減少)	△18,653	△17,290
前受収益の増減額(△は減少)	△17,347	△27,819
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	4,776	△13,826
その他	△11,047	△55,787
小計	140,149	59,499
利息及び配当金の受取額	509	226
利息の支払額	△11,727	△6,820
法人税等の支払額	△32,166	△6,915
法人税等の還付額	-	8,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,766	54,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△88,926	△97,029
無形固定資産の取得による支出	-	△2,346
資産除去債務の履行による支出	△26,996	-
差入保証金の差入による支出	-	△42,834
差入保証金の回収による収入	19,518	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,404	△142,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	820,000
長期借入金の返済による支出	△318,958	△789,534
リース債務の返済による支出	△2,316	△2,316
ストックオプションの行使による収入	78	1,172
その他	△16	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171,212	29,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,776	△6,347
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△176,626	△64,683
現金及び現金同等物の期首残高	607,217	520,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	430,590	456,034

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用及び店舗の使用見込期間に関して見積りの変更を行いました。

割引前将来キャッシュ・フローの見積りの変更による減少額を変更前の資産除去債務残高から減算しております。また、除却時期を見直し、将来にわたり変更しております。

当該見積りの変更の結果、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は39,130千円減少しております。